

しながわ! コミュニティ・スクールフェスタ

Link for the future 学校・家庭・地域で育てよう! 品川の子どもたち

開催しました!



平成31年1月19日(土)、区立豊葉の杜学園(二葉1-3-40)アリーナで「しながわ!コミュニティ・スクールフェスタ ~Link for the future 学校・家庭・地域で育てよう!品川の子どもたち~」を開催しました。会場は約1,600人の来場者でにぎわいました。

本フェスタは、各校に配置している学校地域コーディネーターが中心となり、企画・準備を行ってきたものです。学校ゾーンでは、各校の取組の紹介に加え、学校支援ボランティアの募集を行いました。企業等ゾーンでは、各企業が学校に提供している出前授業が紹介され、体験ゾーンでは来場者を対象とした、食育、環境教育、新聞記者体験、プログラミング等の出前授業が行われました。また、豊葉の杜学園の5年生対象に行われた劇団四季による「美しい日本語の話し方教室」が特別に公開されました。

ステージでは、日本料理「賛否両論」の笠原将弘氏による食育をテーマにした講演や、「これからの社会を生きる子どもたちに必要な力」をテーマとしたトークセッション(裏面参照)を行いました。また、大井権現太鼓の演奏やしながわ学院エンタ部のダンスにより、会場は盛り上がりました。

最後に、中島教育長が「区内にはさまざまな団体がありますが、これまでそれらをどうやって子どもたちのために結び付けていくかが課題でした。今日のイベントを通して、多くの人たちが出会ったことで、子どもたちの未来につながっていくと思います。」と話し、大盛況のフェスタを締めくくりました。



しながわ！コミュニティ・スクール フェスタ

トークセッション

「これからの社会を生きる子どもたちに必要な力」(要約)



【澤野】義務教育段階で必要なこととは。

【榎東】日本の子どもの良さは真面目なところ。しかし、言われたことはやるが、意見を言わず自己主張をしない。親子教室でも保護者からの質問が多く、子どもは親から情報を与えられている状態。自分から「夢をつかみ取る強さ」、自分から「これをしたい」と一歩踏み出す勇気をもつことが必要。



FC東京 普及部
榎東 勇介氏

【服部】企業社会や世の中の変化が早い。このような明日がどうなるか分からない時代には、変化をポジティブに捉える力が大切。そして、自分は何を正しいと思うか、その思いをきちんと言葉にして述べるができるかが問われる。

【森井】アメリカと日本の学校の大きな違いは、アメリカでは教師が教育にフォーカスできること。日本は教師に負担がかかっている。PTA 活動も誰でもやれるときにできるような流動的な仕組みづくりが必要。また、これからの学校教育においては、「自己肯定感」をもたせる教育、自分を大切にしている周囲も大切にしている権利教育は大切。自己肯定感がないと自分の意見を選んでいくことができない。アクティブラーニングを展開する中で、対話の中で自分の意見をもてるようにすることも大切と感じる。

【澤野】自己肯定感を高めるために指導上実践されていることは。

【榎東】まずは大人が変わるべき。指導者への指導をする際には子どものやる気や引き出し方を伝えている。聞き分けの悪い大人になることが大切。ミスをした際もその原因を子ども達に言葉で言わせるようにしている。

【澤野】今の若者に欠けていることは何か。

【服部】足りないものは「決める力」と「失敗すること」。自分で決めたことを聞いても答えが返ってこない。親に言われたからやって来た子が多い。自分自身の意志で決めること、考えるこ



株式会社
マネーフォワード
服部 穂住氏

とが大切。また、失敗を過度に恐れる傾向にある。シリコンバレーでは、失敗しても「Nice challenge!」と言う。挑戦して失敗を重ねなければ成功はない。失敗をする勇気をもつことが大切。コミュニティ・スクールのような場を通して、いろいろな人や企業の存在を知ることが大切。

【澤野】品川区では経済教育に取り組んでいるが。

【森井】スチューデント・シティとコラボした取組をやってきた。日本人は貯金等のお金を貯めることに熱心だが、お金の使い方を意識していない人が多い。お金を借りるとどうなるか等のマネーリテラシーは大切。アメリカでは、お金がないと自分でレモネードを売ってお金を得るなどの体験をする。親子でお金の話をし、お金についての考え方を育むことも大切ではないか。



公認会計士
森井 じゅん氏

【森井】企業では、どんな人材が一番欲しいか。

【服部】企業で活躍できるのは目標が高い人。自分で目標を高くもてる人が成長する。採用面接では必ず「自分の夢」を質問している。その夢に向かって、これまでどのように行動し、これからどうやって成長していきたいかを見ている。

【榎東】選手をスカウトする場合は、人と違う特徴や強みが飛びぬけている人材を選ぶようにしている。

【森井】一人一人の個性や特徴を生かすようにし、自己肯定感の多い子どもを育てることが大事。



モーター
豊葉の杜学園
校区教育協働
委員会委員長
澤野 由紀子氏

【澤野】今日は、必要な力として、いわゆる「お勉強的」な学力が挙げられず、非認知能力が大切だというメッセージをいただいた。保護者は「学力」の点数を重視しがちだが、学力観の転換が必要。品川区には「市民科」があり社会性を重視してきた。今後も期待したい。

3学期の校区教育協働委員会

次のことについて協議・検討を行っています。

- 平成31年度の教育課程について
- 今年度の学校評価（自己評価）の妥当性について
- 今年度の学校支援活動の反省と次年度の計画について
- 平成31年度の委員会開催日程について

ボランティア登録をお願いします



ボランティアが必要になった時に、お声かけします。無理をしない範囲で御参加ください。

登録は随時受け付けております。
活動を希望する学校にお問い合わせください。



品川区教育委員会事務局 指導課 学校地域連携係

〒140-8715 東京都品川区広町 2-1-36

TEL: 03-5742-6595